

週報

【2022/9 第4例会】

例会日：毎週金曜日
 例会場：碧海信用金庫本店3F 安城市御幸本町15-1
 TEL:0566-75-8866 FAX:0566-74-5678
 Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp
 HP: http://www.anjo-rc.org
 ■創立日：S33年1月10日
 ■RI加盟認証日：S33年2月6日

第3113回例会

2022年9月30日(金) 12:30~13:30
 司会者：滝田 有里さん
 ソング：「我等の生業」
 ニコボックス委員会：永井 慎悟
 公共イメージ向上委員会：荻須 篤君
 雑誌委員会：石川 義典君
 ゲスト及びビジター： 加藤 弘様 功労会員



出席報告者：前沢 宏允君	2022-23年度：RIテーマ
全会員数 54名	「IMAGINE ROTARY」
現在出席義務者数 42名	安城ロータリークラブ会長方針：
本日の出席人数 36名	「チャレンジロータリー、笑顔で学ぼう」
内出席免除者の出席人数	
出席率 73.50%	

- 会長：奥田 法行
- 幹事：市川 護
- クラブ会報：赤木禎行・辻隆士・恒川憲一・成田孝則

■ 会長挨拶

奥田 法行会長

1. 加賀昭成さんに黙祷
2. 第26回米山奨学生学友会総会

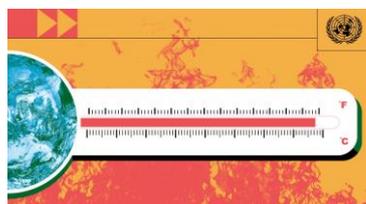


SDGs 10 『1.5℃の約束』



9月初めに気象庁から、今年の6月から8月の、日本の夏の天候について発表がありました。今年の日本の夏の平均気温は平年を0.98℃上回り、1898年の統計開始以来、2010年に次いで2番目に高く、日本近海の平均海面水温も0.8℃高かったそうです。そんな暑い最中、アントニオ・グテーレス国連事務総長が3年ぶりに日本を訪問されました。新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の為に2020年から持ち越しとなっていた、8月6日の広島平和記念式典出席の願いがかなったそうです。

グテーレス国連事務総長の願い



グテーレス事務総長は平和記念式典で核軍縮、ウクライナでの戦争、同国のザポリージャ原子力発電所関連施設への攻撃、食料不安、東アジアでの緊張の高まりの話のほか、会見内容の半分近くは気候関連のメッセージだったそうです。『私たちは、気候危機に立ち向かう為に連携しなければならない。』その一部をご紹介します。

- 1) 2030年までにCO2の排出量を半減するために信頼できる行動を行う。
 - 2) 石炭火力発電所への資金拠出の停止
 - 3) 再生可能エネルギーへの公正な移行のための国際的なパートナーシップの構築
- 以上の3つの分野において具体的な行動を起こすよう、期待を込めて語った。『持続可能な開発目標(SDGs)気候変動に関するニュース少ないようです。』

いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。

1.5℃の約束



世界の平均気温の上昇を産業革命前に比べて1.5℃に抑えるのが、国際社会の目標です。そのためには二酸化炭素の排出量を2030年までにほぼ半減、2050年までに実質排出ゼロにしなければなりません。しかしながら、各国の排出削減目標を足し合わせも、2030年までに減るところか14パーセントも増えてしまうことがわかっています。私たちが適応できるスピードをはるかに上回るスピードで気候変動が進行し、今対策を取らなければ手遅れになり、後世に大きな禍根を残しかねない状況を理解しましょう。自分との関わり、自分そして社会の仕組みとして何ができるかということを考えていくことが大切です。

気候変動を含む『プラネット』の課題は、SDGsの13・14・15番目のゴールという環境関連の個別目標にとどまらず、17の目標全体を支える礎です。土台が揺らぐと、社会も、経済も成り立たなくなります。さらにSDGsの『つながり』の枠組みや『誰一人取り残さない』という大原則こそ、気候変動の影響や対策を幅広く捉える際に重要となります。

1.5℃の約束—今すぐ動こう、気温上昇を止めるために

1. 本日例会終了後周年会議を行います。
2. 2021-22年度の報告書が出来上がりました。
3. 2022-23年度ガバナー月信最終号が出来上がりました。
4. 10/7(金)例会終了後 ガバナー補佐参加のクラブアッセンブリーを行います。計画書を忘れずに！

・ロータリーの友発表



◆ 卓話

岩井 春次君・石川 徳重君

テーマ「自動車修理の流れ」 岩井 春次君

会社紹介

社名 (有)日翔钣金塗装 代表取締役 岩井春次
 創業 26年 1995年9月起業 金無し、コネ無し、0からのスタート
 住所 安城市横山町寺田29-11

「テーマ」自動車修理の流れ

修理の依頼 ディーラー 損保会社 一般ユーザー
 見積 目視 計測 診断機での故障コード確認
 事前協定 損保アジャスターとの損害確認
 指示書 作業員への作業方法指示
 钣金 フレーム修正(ジグセット) 外板パネル修正
 塗装 調色(コンピューター調色) 塗装
 完成検査 目視外観検査 故障コードリセット アライメント



近未来車社会の歴史と環境の変化

1769年、蒸気で走る車 ~ 1823年、電気自動車 ~ 1885年ガソリン車 ~ 1908年、T型フォード(大衆車)
 日本の車保有台数7200万台(国民2人に1台)自動車の利便性の引き換えに年間1万人が交通事故死、環境問題(渋滞、CO²)

「対策」

電気自動車による CO²削減
 (課題) リチウム資源にも限界
 電気を作り出すのに化石燃料使用によるCO²増
 低走行距離での充電施設の普及度、充電時間
 自動運転による 渋滞、交通事故0、少子高齢化での人手不足解消
 (課題) 災害等での緊急回避
 全ての車が自動運転の車への買い替え
 予測不可能な人や動物
 運動不足 思考力の退化

ありがとうございました。

テーマ「うらかた」 石川徳重君

たいよう株式会社
 安城市三河安城東町1丁目18番地4

私の職業分類 不動産売買(RC)
 不動産うらかた



主な業務
 ①宅地建物取引業 土地建物の売買・賃貸・管理など
 ②測量業(別会社) 土地家屋調査士など



沿革
 太洋不動産 創業 昭和12年 周旋屋
 昭和27宅建業法

太洋測量不動産 個人→法人
 たいよう株式会社 商号変更

